

株式会社オークマ工塗

塗装に対する4つの最適 的確な提案で問題解決！ 満足を提供する企業

納期相談 企画力自信有 コスト相談 オンライン技術 メイデンジャパン 試作可小ロット 量産対応



幅広いオークマ工塗の塗装ラインナップ。ショールームでの確認、商談も好評

多業種・素材・塗料を扱う 塗装界の稀有な存在

オークマ工塗は塗装専門メーカー。同社が取り扱うのは自動車、家電、化粧品、建築金物といった部品塗装だ。

塗装は、下請け業であることが多い。例えばプレス業の下請けであれば鉄、アルミ素材しか扱った事がないというのがほとんどだ。そんな中、さまざまな業種、素材、塗料を扱っているのは珍しい。そこが、塗装専門メーカーであることのゆえんだ。

多彩な経験を得たのは、大熊社長のチャレンジ精神と好奇心にある。「何でもやりたいと思う性分。挑戦してみると面白い。その延長線上に、お客様のニーズがあつたんです」と語る。7年前に立ち上げたホームページにより顧客層も大幅に増え、聞こえてくるニーズも増加、さらなるチャレンジの幅も広がりと、大熊社長の好奇心がもたらした相乗効果は絶大だ。

常識をくつがえす新発想で 塗装の幅を広げる

同社の強みは大きく4つある。まず、『準クリーンルームによるゴミ・ホコリなし塗装』。塗装はウエットな状態で行うため、ゴミ・ホコリがついてしまう。そこでレーザー光線や煙幕、ライトを駆使してホコリの流れを確認。それに沿ってホコリやゴミを遮断する等クリーンな環境で、『ゴミの見える化』システムをつくり上げている。さらに顕微鏡やローラー、ハケ等も動員させて対処。細かいことの積み重ねにより、徹底した除去を行っている。



多彩な工法を持つ塗装。高い技術力で顧客にとっての“最適化”を提案

次に、『4つの最適化塗装』。液体塗装に対応する手吹塗装、電着塗装や、粉体では流動浸漬等々、塗装にはさまざまな方法がある。また自動車、家電、建築金物等その製品によつて管理の仕方、検査の方法は異なる。これらを知らない顧客に対し、まず「素材」に合った「塗装方法」を選定、「塗料の種類」、「管理方法」の最適化を図り提案。無理なコストダウンではなく、最適コストによるコストダウンを図る。

3つ目は、最短1分から90分で仕上げる『クイックタイムコーティングシステム』。素材を選ばず、1個から仕上げる試作塗装だ。企業の大小を問わず商品開発等からの依頼が増加している。

そして4つ目は『塗装問題コンサルティンク』だ。多彩な業界での経験とノウハウを活かしセミナーを開く等、同業者にも対応している。

現在、室内クロスの上から塗装を施せる『ローコストリペアシステム』を考案中。またタイヤ等へのゴム塗装や、日本では未存のカオチン電着のカラー化、バレル電着の開発に成功する等、これらが楽しみな用途開発を続々と抱えている。各業界内にはない発想を、塗装分野で提案する。それが、同社がめざす次なるステージだ。

Company Profile

株式会社オークマ工塗

ISO 9001

大阪22

住 所 〒579-8004
東大阪市布市町3-2-57
T E L 072-988-1363
F A X 072-987-6959
設 立 平成12年5月1日
資本金 3,000万円
従業員 17名
代表取締役 大熊 重之

■主な事業内容

金属・樹脂部品の小物塗装

■主な取引先

ゴム製品製造メーカー、住宅資材・プラスチック製品メーカー、自動車部品メーカー、家電品部品メーカー、大手開発室、モデル製作会社、販促物製作会社 等

<http://www.okumakot.com>

他社には
負けない

当社のものづくり
セールスポイント

現場力を養うノウハウを活かし
コンサル・教育セミナーにも対応

代表取締役 大熊 重之 さん



「創造性」を発揮することを大切にしています。工場設計やクリーン塗装技術・システムは、現場力で生まれたもの。社員教育の充実により主体的に能力を発揮でき、成長できる環境づくりに取り組んでいます。これらのノウハウをコンサルティングする事業や教育セミナーも始めています。